

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 12月 26日

公表: 令和 5年 月 日

事業所名 児童発達支援重症心身障がい児 プレーメン一宮

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	基準を満たしています。	ご利用の人数や活動状況、時間帯美よって快適に過ごしていただけるよう配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	10	0	基準を満たしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2	障害物や段差のないよう物品は児童の手の届かない場所に収納し、すくに出せるようまとめています。トイレスペースは中扉を外して空間の確保に努め、接触防止のクッションを設置し事故等のリスク減につなげています。	トイレ用補助椅子の導入に向けて環境整備を行っていきます。玄関で靴の着脱を行う場所に靴のマークを貼ったり、生活の見通しが立つよう絵カードを用意し情報伝達しやすさよう可視化していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	定期的な換気、加湿器、サーキュレーターの設置を行い空調衛生管理に努めています。来所前、来所後に清掃・消毒、その都度消毒しています。また季節が感じられる飾り付けを行い清潔で心地よく過ごせるよう配慮しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	チーム目標、個人目標を設定し、定期的なスタッフ面談で目標に対する振り返りを行い、業務改善に努めています。	今後も継続して業務改善を進め、支援の質の向上に繋げて行きます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	アンケート調査や面談等での保護者やお子さまの意向を把握するように努め事業所全体で情報を共有し改善につなげていけるよう努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2	ホームページ等で公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	1		第三者による外部評価は受けていませんが、今後もアンケート調査や相談・ご要望をいただきながら業務改善につなげていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	職員が希望する外部の研修にはなるべく参加できるよう配慮しております。社内研修も年間を通して定期的に行っております。	今後も社内外での研修の機会を増やし職員の資質の向上を行っていきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	1	ニーズや子どもたちの発達状況を把握しシート上で作成しています。全職員でアセスメントシートや面談内容を確認し、支援計画会議を行ってよりよい計画を作成しています。	子どもたちのニーズを更に考慮した支援計画になるよう、日々の小さな気づきを見逃さず、今後も子どもたちの気持ちに寄り添っていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	アセスメントシートを使用し子ども達の状況を把握しております。アセスメントシートを使用し面談時には項目に沿って聞き取りをしています。	今後は更にアセスメントツールを活用し、成長発達が促せられるよう環境を整え、働きかけていきます。スタッフ間でもしっかりとアセスメントの概要を共有して行くようにします。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	1	子どもたちの発達状況・特性を理解し保護者皆様の思いも受け止め、医療機関等との連携、情報共有を行った上で、その時に何が必要とされているのかを適切に見極め支援内容を設定しています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	支援計画・モニタリング会議を行い、職員間で共有して支援にあたっています。		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	4	毎日の朝礼でその日の活動内容が把握できるように話し合いを行っています。	立案の段階から全職員での話し合いが行われるようにしていきます。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	子どもたちの発達状況・特性を踏まえた活動内容になるよう日々工夫しています。	年齢・興味の有無、経験、未経験得意苦手などお子様の状況に配慮し活動の内容や段階を設定工夫して取り組み進めていけるようにしていきます。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	1	子どもたちの発達状況・特性、ニーズを考慮した内容で作成しています。お子さまやご家族のニーズや課題、要望を聞き取り支援計画を作成しています。	今後も計画に沿った集団・個別活動が日々の療育プログラムに反映され、行われていくよう努めていきます。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	毎日の朝礼の時に役割分担、活動内容、看護師による子どもたちの体調面の申し送りを行い確認したうえで支援にあたっています。		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	毎日の終礼の時に、気付きや振り返りを行い次へ活かせるよう情報共有を行っています。配置・送迎確認を行っています。その日のうちに職員全員で支援方法や工夫ポイント、配慮すべきポイントなど次回ご利用に向けてミーティングや記録をしています。		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	ヒヤリハット、連絡帳などを記入し支援の改善に努めています。業務日報に毎日の記録を残し、次回のご利用に向けての改善につなげています。スタッフノートを記入し、チームで情報共有をしています。		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	モニタリング会議、保護者の方との定期的なモニタリングを実施し、支援計画見直しの必要性を判断しています。		
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	児童発達支援管理責任者が適時参画しています。	参画後の情報共有を職員間でしっかりと行っていきます。
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	2	地域の処遇検討会で、保健医療、保育、母子・子育て支援の関係機関との話し合いの場に参画しています。	参画後の情報共有を職員間でしっかりと行い、支援に生かせるようにしていきます。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	2	地域の処遇検討会で、保健医療、保育、母子・子育て支援の関係機関との話し合いの場に参画しています。	参画後の情報共有を職員間でしっかりと行い、支援に生かせるようにしていきます。	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	1	ケアが必要な方には主治医の指示書を提出してもらっています。入院の際にはサマリーでの情報共有を行っています。月に一度囁託医による往診を行っています。		
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	2		移行支援(保育所、こども園等)としては今後必要な時に慎重に検討していきます。特別支援学校幼稚部とは日々の申し送りのみで支援内容の情報共有ができていない部分があるので、今後は話し合いの機会を設け、相互理解を図ってまいります。	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	4		移行支援(小学校)としては今後必要な時に慎重に検討していきます。特別支援学校小学部とは進学の際など支援内容の情報共有ができていない部分があるので、今後は話し合いの機会を設け、相互理解を図ってまいります。	
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2	児童発達支援事業所と必要に応じて連携を行い、情報共有を行っています。	研修については今後機会があれば参加していきたいです。	
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	10	感染症対策のため交流の機会は設けていません。		

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加してい る	3	7	年に4回の処遇検討会に参加し、地 域の子どもたちの近況について検 討し、各機関との相互理解を図って います	自立支援協議会、こども部会への参加ができるよう調整 していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	9	1	送迎の際や連絡帳などを通して 日々の様子や発達状況を伝え合い 共有できるようにしています。 送迎時や連絡帳にてお知らせしたり ご家族の思いなどを確認するよう にしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング等)の支援を行っている	2	8		今後は感染症対策を徹底した上で(リモートを含)講習会 等行えるように考えていきたいです。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っている	8	2	契約時に規定や利用者負担につ いて記載された重要事項説明書を 丁寧に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から児童発達支援計画の同意を 得ている	9	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っている	9	1	定期的なモニタリング、必要に応じ て面談を行っています。日々の様子 等も連絡帳や送迎時にお話するこ とで不安の軽減に努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	10		今後は感染症対策等をしっかりとしたうえで、保護者同 士の関わりや交流を持てる機会を設定していきたいで す。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れにつ いて、対応の体制を整備するとともに、子ども や保護者に周知し、相談や申し入れがあった 場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	相談や申し入れがあった際は窓口 担当が迅速に対応し、重要事項説 明書にも市町村の相談窓口の記載 をし、案内しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	9	1	SNSを通して活動や行事の様子を 発信しています。 毎月活動予定表を配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	1	契約時に個人情報の取り扱い方 について説明し、同意をいただい ています。 保護者等へは個人情報の取り扱い について必要最低範囲内での使用 の同意をいただいています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	子どもたちの発達状況や特性を理 解した上で十分な配慮をしています	障がいや年齢等に配慮し誤解がないよう意思疎通や情 報伝達ができるよう努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1	9		個人情報や保護者の同意、お子さまの負担減、防犯体 制等考慮すべき課題への対応策が整備でき次第計画 を進めていきたいと考えています。
	非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、職員や保 護者に周知するとともに、発生を想定した訓 練を実施している	9	1	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	8	2	実際に広域避難所へ歩いてみて、 道中の様子や時間を計り記録を 取っています。	今後も定期的に非常災害に備えていきます。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等 のこどもの状況を確認している	10	0	看護師によるヒアリングを定期的 に行い職員間でも共有しています。	嘱託医とも共有しながら今後もしっかりと状況把握に努 めていきます。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	9	1		今後も保護者にアセスメント面談にて食物 アレルギーの確認をし、適切な対応をしていきます。

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	職員会議で事例を共有して改善に努めています。 都度記録し事業所内で共有するように努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	虐待防止委員会を立ち上げ、年に2回議事を開催し記録に残しています。また、年に2回全職員を対象にした虐待防止研修を行い、セルフチェックも行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	2	身体拘束適正化検討委員会を立ち上げ、年に2回議事を開催し記録に残しています。また保護者の皆様には身体拘束適正化の指針を契約時に説明しています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 28 日

アンケート期間:令和 4 年 12 月 12日~令和 4 年 12 月 23日

事業所名 児童発達支援重症心身障がいブレイメン一宮 保護者等数(児童数)10 回収数 9 割合 90 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1	0	0	活動の内容によっては少し狭いように感じる	法令で定められた基準を満たしています。ご利用人数や活動状況などを考慮し、室内空間の有効活用を考えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1	0	0		配置基準は満たしていません。専門性に関しては有資格者であり職務遂行に十分な経験のある職員が所属しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	0	お座りできない子はトイレに座れる環境にない	トイレに関しては補助椅子の導入に向けてドアを外しスペースの確保を行い、環境整備を進めています。床面にはジョイントマットを使用し、柱など角が気になる所にはガードクッションをしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	1	0		毎日清掃点検表を付けて常に清潔な状態を保てるようにしています。玩具やマット等は使用後に消毒を行っています。またゲートも設置し死角へ子どもたちが侵入してしまわないようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	0	0	0		定期的なモニタリングと必要に応じて面談を実施し、その内容をもとに支援計画会議を行い支援計画を作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	1		子どもの発達の理解、特性に応じた対応、家族の思いを考慮し、医療機関や他の事業所などと連携をした上で何が今一番必要なのか支援系内容を考え、設定しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0		支援計画会議や職員会議、日々の意見交換など、常に情報共有を心掛け、支援にあたっています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	0	0	0	季節の行事など取り入れて工夫してもらっている	保育士を中心に定期的な活動会議を行い、マンネリ化しないよう、子どもたちの特性を踏まえた上で活動プログラムを設定し、実行しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	5		現在感染症対策もあり積極的な交流は実施しておりません。今後は世間の動向をみながら少しずつ慎重に交流の機会も出たらと考えています。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		ご契約時に重要事項説明書を説明し、随時必要に応じて質問等に答えられるようにしています。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	8	0	0	1		モニタリングの内容、子どもたちの発達状況や特性を考慮して作成した支援計画書を提示しながら保護者の方に説明をし同意をいただいています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	1	1	2		感染症対策もあり母親教室や講習会等はありません。個別に話す機会を設けたり連絡帳を通して子どもたちの発達相談・支援等に努めています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	0	0	0	Dr往診のアドバイスが聞きたい	今後は往診内容を個別にお知らせしていくように取り組めます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	0	0	0		定期的なモニタリングと必要に応じて面談を実施したり、連絡帳や電話を通して子どもたちの発達相談・支援にあたっています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	2	3		感染症対策もあり母親教室や保護者会等は行っていません。今後は世間の動向を見て慎重に検討していきたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	1	0	0		相談等あれば迅速に対応しています。また重要事項説明書に事業所内の相談窓口、市区町村の相談窓口も記載し説明しています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	0	0	0		子どもたちの成長発達、特性を考慮し、プライバシーにも配慮した上で意思の疎通や情報伝達に努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1	0	2		ホームページに自己評価結果を公表しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8	0	0	1		保護者皆様には個人情報の取り扱い、写真の掲載などご契約時に同意をいただいています。職員にも取り扱いには配慮するよう指導しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	0	0	3		緊急時対応では事業所内、送迎時と想定したマニュアルを用意しています。防犯訓練は年に2回実施しております。感染症対策においては社内研修を行い、職員の知識向上に努めています。今後はこういった活動を広く保護者の皆様向けに周知できるようにしていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	0	0	3		年に2回避難訓練(地震・火災)を行い、記録を残しています。
満足	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1	0	0	家にはない玩具や家ではやらない遊び等、たくさん刺激をもらっている。	事業所で楽しく穏やかな時間が過ごせるよう、活動内容を工夫したり引き続き安全に配慮していきたいと思えます。

度	23	事業所の支援に満足しているか	8	1	0	0		今後も皆様に満足していただけるよう職員研修や活動内容を充実させていきたいと思ひます。
---	----	----------------	---	---	---	---	--	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。